

# 「『未知への挑戦』とくしま行動計画」 「v s 東京『とくしま回帰』総合戦略」の評価方法

## 1 基本的な考え方

「『未知への挑戦』とくしま行動計画」は、令和元年度から令和4年度までの4年間を計画期間として策定されたものであり、今回はその2年目の評価を行う。

「v s 東京『とくしま回帰』総合戦略」は、令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間として「第2期」が策定され、今回はその初回評価を行う。

昨年度に引き続き、評価基準を客観化し、計画改善見直しに向けた「委員からの提言」に重きを置く評価方法とする。

## 2 評価のポイント

令和2年1月の国内における新型コロナウイルス感染の発生以来、本県では、その対応に全力を上げている。しかしながら、令和2年度行動計画・総合戦略はその策定期間から、新型コロナウイルスの影響が反映されたものではない。

新型コロナウイルスの影響を受けた事業を含む「施策評価」は、「新型コロナウイルスの影響の定量化は出来ない」ものの「その影響」や「対応状況」を加味する必要がある。

## 3 評価方法

### (1) 評価の対象

行動計画：「令和2年度の実績及び成果」

総合戦略：「令和2年度の実績及び成果」

(2) 判定・評価の単位

ア 判定単位

行動計画：主要事業（622事業）

総合戦略：主要事業（253事業）

イ 評価単位

行動計画：主要施策（91施策）

総合戦略：具体的な施策（15施策）

(3) 判定・評価の基準及び手順

ア 判定

「数値目標」の達成率を基礎として、「主要事業」の達成率を算出し、次の区分のとおり、A、B又はCの3段階で、客観的、機械的に判定する。

第1段階 主要事業ごとの「判定」		
A	B	C
主要事業ごとの 数値目標の達成率の平均 90%以上	主要事業ごとの 数値目標の達成率の平均 80%以上90%未満	主要事業ごとの 数値目標の達成率の平均 80%未満

イ 評価

「数値目標」の達成率を基礎として、行動計画の「主要施策」または総合戦略の「具体的な施策」の達成率を算出し、次の区分のとおり、事務局が機械的な評価案を付す。

その評価案を参考にしながら、会議での議論を踏まえ、「順調」、「要注視」又は「要改善」の3段階で、評価を最終決定する。

第2段階 施策ごとの「評価」		
順調	要注視	要改善
施策ごとの 数値目標の達成率の平均 90%以上	施策ごとの 数値目標の達成率の平均 80%以上90%未満	施策ごとの 数値目標の達成率の平均 80%未満
委員の「改善見直し提言」、 <u>「新型コロナの影響」、「新型コロナへの対応状況」</u> を加味		

#### (4) 新型コロナ対応の確認と評価方法

新型コロナの影響を受けた事業については、「令和3年度行動計画への継続性」を考慮し、次のようにタグ付け（類型化・一覧化）する。

委員協議では、事業の方向性を踏まえた上で、その実績と成果の確認を行い、「改善見直しに向けた提言」に繋げる。

##### 影響事業の類型化

#### A 令和3年度計画では目標設定を廃止等するもの

##### A-1 令和3年度計画では目標設定を廃止するもの

事例：外国人延べ宿泊者数、クルーズ客船来県者数等

論点：パラダイムシフトを踏まえた議論

##### A-2 国際的・全国的な事業等の延期・中止の影響を受けるもの

事例：オリパラ事前キャンプ受入数、全国学力・学習状況調査の正答率等

論点：不可抗力事由を踏まえた議論

#### B 「ニューノーマル仕様」を「ハイブリッド」したもの

##### B-1 数値目標の方向性は維持しつつニューノーマルの手法を取り入れたもの

事例：イベントや研修・講座の開催等

論点：ニューノーマルの手法の取り入れによる効果を踏まえた議論

(対応が既に数値目標の実績に反映されている場合があることに留意)

##### B-2 数値目標では測ることができない補完的な取組みをしたもの

事例：阿波おどり海外公演・指導者派遣回数等

論点：補完的な取組みの効果を踏まえた議論

#### C 「ニューノーマル仕様」をはじめ全く新たな手法で推進する項目

●デジタル社会の構築

●グリーン社会の構築

○新次元の分散型国土の創出

} 新たな視点

事例：コンセプト泊の実施等

論点：アフターコロナにおける「3つの国難」打破に向けた議論

### 3 その他

行動計画と総合戦略の評価シートの統合は、行動計画の施策体系に総合戦略の主要事業を取り込む形で行った。このため、評価シート上、総合戦略の施策体系とは一致していない。

したがって、総合戦略の「具体的な施策」の評価は、行動計画の施策体系に沿って配置された総合戦略の「主要事業」ごとに協議した後、第3回の会議で「具体的な施策」ごとの評価をまとめて実施することとする。